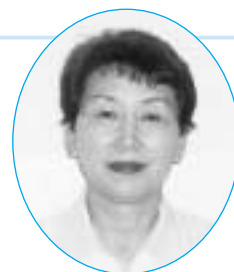


# ◆浸水想定図(ハザードマップ)の公表を早く ◆池田町には女性の管理職がなぜいない?



窪田弘子議員

## 常態化した浸水区域

Q

東川・杭瀬川の合流点の下水処理場付近は北側堤防が南側より1m低い。過去何度も先輩議員が一般質問で「築堤・川の改修・排水機、他に調整池を」と強く訴えてこられた。町の対応策にもかかわらず近年の異常気象による集中豪雨では1年おきに浸水・消防はこの10年に8回出動



平成14年7月 台風6号により一面海のような。建物は、公共下水処理場

した。

国は、国民の生命財産を守るためにハザードマップづくりを各自自治体に義務付け、大垣、養老はすでに全戸に配布済み。住民みずから対応を考えることができるよう正しい情報は早く出されたい。

町営住宅跡地が80戸分、町有空地として浸水の心配のない所にある。もし、浸水区域の方が希望されるな



平成14年7月 浸水計60世帯 床上浸水5、床下浸水・土砂流入等被害大15、床下浸水・土砂流入等被害小40

ら土地を斡旋し安全な所へ移る選択肢も提示したらどうか。

## ハザードマップは

来年4月に公表する町長

A

圃場整備が済み川のは激減、宅地開発も毎年5haほどあり、一気にあの合流点へ水が来る。平成7年からは1ha以上の開発には調



町営住宅跡地(町有地)。現在、空地40戸、空家40戸分ある。

## 女性の管理職の誕生は?

Q

現場も含め、男女各100名ほどの町職員の内、管理職は男30名、女0、これは不自然だ。女性は違う視点・ものさしを持つており知恵を企画の中枢へ取り入れないとはなんともったいない。

「女だからダメ」ということのないように願いたい。

## 「近い将来」ありつる町長

A

現在女性管理職がないのは事実。働きに報いて登用するよう考えていく。